

# 平成12年度 予算と 施政方針

平成十二年度予算が決まりました。  
一般会計当初予算は、前年度に比べて四・〇パーセント増の百二十五億八千五百万円と、過去最高となっています。  
これは、白根学習館建設事業の継続実施や（仮称）南部中学校建設事業の着手、高齢者介護施策など、「高齢化社会への配慮と、生涯学習、学校教育に力点を置いた事業」を盛り込んだ結果です。

特別会計では、下水道終末処理場施設の建設に着手する下水道事業特別会計が、前年度に比べて一五・五・〇パーセント増と大きな伸びを示しています。

## 将来に向けて 人づくりへの基盤整備

### 一般会計

当初予算額は過去最高の  
125億8、500万円

平成十二年度の一般会計予算は十一年度の百二十億九千六百万円に対し、四億八千九百万円（四・〇パーセント）増の百二十五億八千五百万円となりました。これまで過去最高であった九年度の予算規模百二十五億三千万円を、八千二百万円上回っています。  
一般会計予算規模が大きくなった理由は、教育の分野における白根学習館建設事業の継続実施と、新規事業の

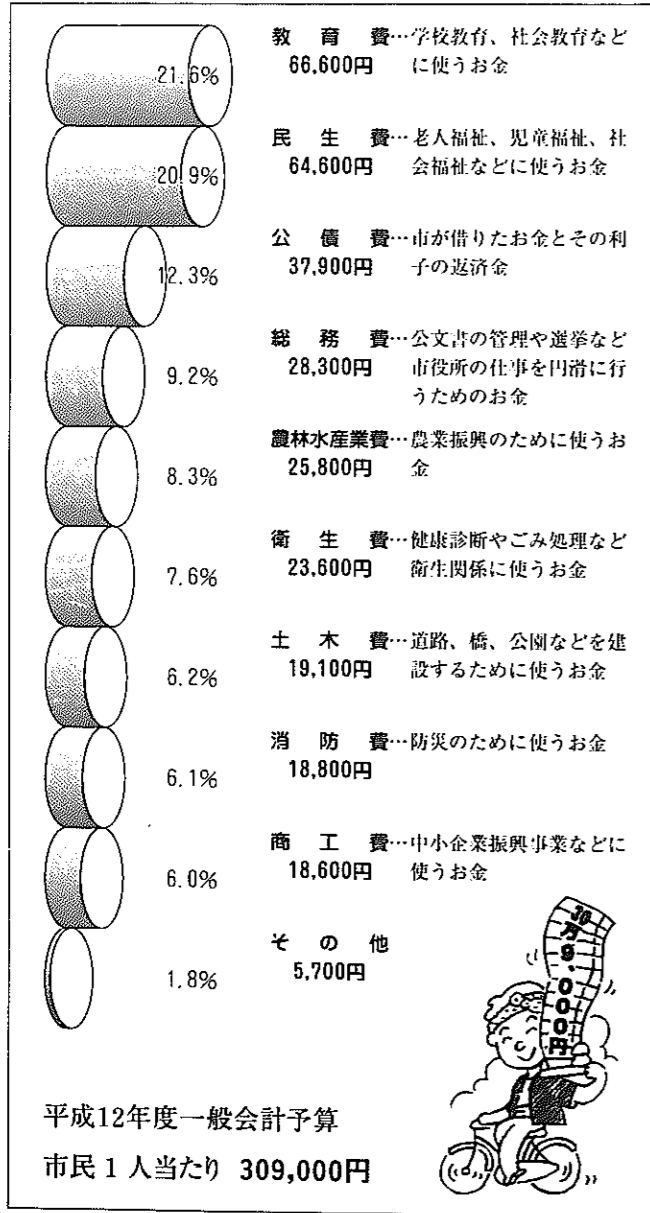
（仮称）南部中学校建設用地取得造成事業、消防の分野における河川防災ステーション建設事業などが主な要因として挙げられます。

一般会計予算額を市民一人当たり（平成十一年二月末日人口〇四万七千二百二十一人）に換算すると、年間約三十九万九千円となります。目的別の歳出入当りの予算額は左表のようになり、大規模新規事業に着手する、教育費と消防費に大きな伸びが見られます。

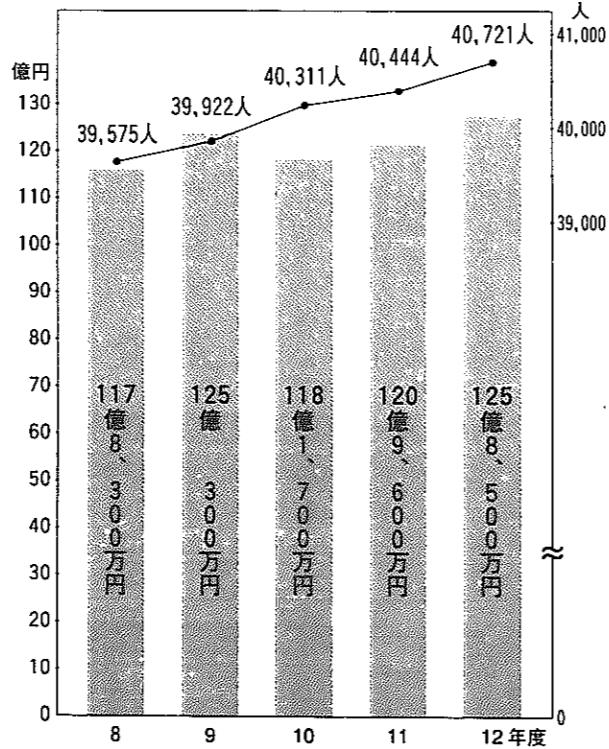
昨年、最も多く使われていた民生費は、市民一人当たり四千三百円減少しています。これは、今まで一般会計にあった老人福祉対策費の一部が、平成十二年度から新たに設置される介護保険事業特別会計に移行したためです。

■一般会計当初予算（市民1人当たり）前年度との比較

	本 年 度	前 年 度	増 減
市民1人当たり総額	309,000	299,000	10,000
教育費	66,600	47,800	18,800
民生費	64,600	68,900	△ 4,300
公債費	37,900	37,300	600
総務費	28,300	28,000	300
農林水産業費	25,800	28,600	△ 2,800
衛生費	23,600	26,800	△ 3,200
土木費	19,100	20,400	△ 1,300
消防費	18,800	16,200	2,600
商工費	18,600	19,300	△ 700
その他	5,700	5,700	0



■一般会計当初予算と人口の推移



※いずれの表も人口は、各年度とも2月末現在で計算しています

